

情報公開文書

課題名 : 胆嚢癌に対する外科治療成績に関する研究

研究期間: 倫理委員会承認日～2025年12月31日

1. 研究の対象

2002年1月以降に胆嚢癌と診断され、当院にて外科的治療を受けられた方、あるいは胆嚢結石症、胆嚢炎、あるいは胆嚢ポリープなどの良性疾患と診断され、当院にて外科的切除を受けた後、胆嚢癌と診断された方

2. 研究目的・方法

胆嚢癌は早期診断が困難で、術前に胆嚢結石症、胆嚢炎、あるいは胆嚢ポリープなどの良性疾患と判断し、胆嚢摘出の後に、結果的に胆嚢癌と判明する場合(潜在性胆嚢癌)があります。胆嚢癌は悪性度が高いことが多く、診断時にすでに近隣臓器(肝臓、胆管、十二指腸、大腸など)への直接浸潤を伴っていることも多いです。現在においても薬物療法の効果は限られており、胆嚢癌の治癒のためには外科的切除が重要です。また、胆嚢癌は高齢者に多く、胆嚢癌の進行状況に応じて、外科的切除に伴う身体的ストレスの程度は大きく異なるため、手術の適応や術式の選択については十分に検討する必要があります。今回、当院にて外科的治療を行った胆嚢癌の患者さんを後ろ向きに調査し、患者さんの特徴、治療成績を検証、解析します。また、胆嚢癌の外科治療成績に関係した重要な因子を検討し、最新で最適な治療戦略を追求します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 年齢、性別等の基本情報、病歴、血液検査結果、画像診断結果、治療歴、合併症の発生状況、病理結果、現在の状況 等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 消化器外科 田村 浩章(研究責任者)

静岡県浜松市中区富塚町 328

Tel: 053-453-7111(代表)